



สถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่น
Thai-Nichi Institute of Technology
泰日工業大学

มหาวิทยาลัยเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่น
100 หมู่ 10 ตำบลบางพลีใหญ่ อำเภอบางพลี จังหวัดสมุทรปราการ



สถาบันอุดมศึกษามิติใหม่ สากลญี่ปุ่น
แบบ MONOZUKURI



Thai-Nichi Institute of Technology (TNI)

泰日工業大学

泰日工業大学 (TNI) 学長

准教授 ランサン・ラートナイサット

1980年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。
同年サハグループICC社に就職。

1997年泰日経済技術振興協会 (TPA) 事務総長に就任し、診断士制度のタイへの普及などに取り組む。

2007年泰日工業大学 経営学部長就任。

2020年副学長 (学生募集・広報・アカデミックサービス担当) に就任。

2023年1月より泰日工業大学 第4代学長に就任。



泰日工業大学の特徴



TNIの特色

5ゲン主義

TNIでは「ものづくり5ゲン主義」を指導しています。

- 1 現場 Learning from the workplace
- 2 現物 Learning from the work environment and real materials
- 3 現実 Learning from practice in real situations
- 4 原理 Learning from theories
- 5 原則 Learning from rules and regulations

KM-HR-HoP

Kaizen改善
Monozukuriものづくりの思想
Hansei反省
Respect自他の尊重
Honest誠実
Public Interest Conscious公益意識
TNIではKM-HR-HoP にあらわされる6つの倫理・価値概念を教育方針としています。

複言語主義

TNIでは英語と日本語に必修課目および選択課目を設定し、卒業時に英語と日本語でビジネスレベルコミュニケーションができるように配慮しています。日本語検定能力試験N3以上を保持する学生は50名以上在籍しています。高い語学能力は就職に有利になるばかりでなく、日本や外国へ進学する際にも必須のスキルとなります。

情報発信

タイ・日交流、TNIによる日本(大学など)およびタイ社会への情報発信として、2014年度から日系企業勉強会(J-seminar)を開催しています。タイの政治・社会・経済状況、交通インフラ、タイの中小企業政策、タイ大学とTNI、TNIの研究開発など、日系企業に需要のあるテーマを選び講演をしています。



TNIが目指す方向

教育方針

- 専門知識の充実
- タイ語・英語・日本語の3カ国語の習得
- “Learn at TNI and Go Japan”

タイにおける日本の情報集積地・発信地

- タイ随一の**日本関係情報集積地**を目指す
→ “Japan Technology and Knowledge Center”
- タイ社会への**日本の情報発信地**

日系企業との協力への期待

GX

DX

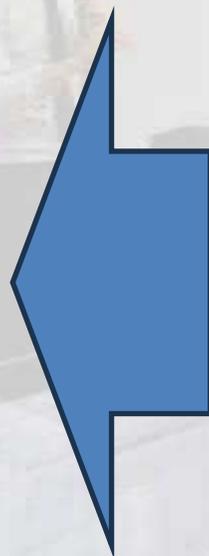
AI

Aging
Society

Logistics

Others...

タイ・日本・世界が抱える
社会課題



TNI

人材

技術
知識

Large
Comp
anies

SMEs

Start-
ups

産学連携

日本の機関との関係

1. タイ国内の日本機関

- 在タイ日本国大使館
- バンコク日本商工会議所 (JCC Bangkok)
- AOTS (人材教育企画、GX事業など)
- JETRO
- JICA (専門家派遣は毎年2~3人)
- NEDO (研究資金)
- バンコク日本人会

2. 日本の中の機関

- MoU 締結している日本の大学数 77校
- MoU 締結している日本企業 30社
- 日・タイ経済協力協会 (JTECS) など

3. 卒業生の就職先の日本企業率の平均は約45%

4. 学生のIntern先の日系企業率の平均は約50%

5. TNI Job Fair の日系企業の参加率は80% (平均87社)

6. 奨学金を寄付する日系会社数はこの10年平均44社、一番多いときは77社。

大学概要

直近4年の学部・学生数推移 (単位:人)

学部/年度	2020年	2021年	2022年	2023年	総数
工学部	126	140	207	271	744
情報工学部	207	242	274	341	1064
経営学部	272	330	394	396	1392
国際学院	33	30	47	47	157
総計	638	742	922	1055	3357

社会人教育課程入学数推移 (単位:人)

2020年	2021年	2022年	2023年	総数
36	82	111	175	404

注:1. 学生総数は学部、大学院、社会人教育を含む。
 2. 2020-2022年の実数は総学生数から中退者を差く引く数字。
 2023年は新入生数。

卒業生就職状況(学部別)

学部	2018年					2019年					2020年					2021年					合計		
	E	I	B	計	%	E	I	B	計	%	E	I	B	計	%	E	I	B	TNIC	計			%
卒業生数	288	182	413	813	100	378	211	453	942	100	245	197	463	905	100	206	198	372	33	809	100	3469	100
就職	193	132	289	664	69.5	207	144	281	632	67.1	169	133	336	618	68.1	157	161	265	25	608	72.5	2522	72.7
進学	44	27	87	158	17.9	43	37	118	198	21.0	39	31	88	158	17.5	25	19	70	--	114	14.9	628	18.1
その他	51	23	27	111	12.5	28	30	54	132	11.9	37	33	39	109	12.0	24	18	37	2	81	10.0	433	12.5

TNIの6学部・23学科 <工学部－6学科>



自動車工学 (AE)

自動車の設計、材料技術の開発、生産プロセス、生産管理、自動制御システム、保守システムなどにおいて、自動車の問題解決における分析能力など、新しい技術を仕事に応用できる能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。

ロボティクスリーノオートメーション工学 (RE)

在タイ日系製造業から需要が高く、注目をされている分野です。工作機械設計、工場管理、高性能数値制御(CNC)設備・機材などを使った実技演習などを含む生産技術システム、生産プロセスにおける問題解決の知識とスキルを学びます。

コンピュータ工学&AI (CE)

ハードウェアとソフトウェアの設計、組み込みシステムに焦点を当てています。組み込みシステムは、さまざまな産業の自動制御システムの中核です。また、このコースは、日本やアメリカの主要な高等教育機関に相当する水準で運用されています。

産業工学 (IE)

産業管理の基準と日本の産業管理を組み合わせ、卒業生は生産計画、生産プロセスの改善、品質管理、物流管理などで、両方の視点からの知識を適用することができます。

電気工学 (EE)

電気工学の内容を電力システム、スマートシステム、メカトロニクスの3つの領域で提供します。日本の「ものづくり」の原則に基づいた教育に焦点を当てています。

【新設】

総合デジタル工学 (SE)

AI、IoTなど、デジタル技術を駆使し、社会の課題解決に貢献できる人材育成。科学、工学、マネジメントの知識を融合し、グローバルに活躍できるエンジニアを輩出します。

TNIの5学部・23学科 <情報技術学部－5学科>

情報技術学(IT)

コンピュータ・プログラミング、経営とデータベース設計およびコンピュータ・ネットワーク、マルチメディア、コンピュータ・グラフィック、広報、顧客(関係)管理やウェブサイト上サービスなどの分野に情報技術知識を応用することを含む経営のためのデータ処理などをテーマに学生を訓練し、現代企業に必須な能力を提供します。

マルチメディア技術学(MT)

国際基準に従った最新のテクノロジーを用いて品質の高い作品を作成するための理論と実践の学習に焦点を当てています。マルチメディアテクノロジーにおける製品デザインと分析スキルの知識を持った卒業生を輩出し、自己学習と開発能力、そして創造性、道徳性、倫理性の感覚を持ち、現在のテクノロジーの変化に追いつくことができる能力を身につけます。

デジタルビジネス情報技術学(BI)

情報技術の優れたスキルが身につくと同時に、ビジネスに関する理解を深めることで、さまざまな場面で効率的にITを開発または適用できる能力を養います。また、このプログラムでは、SAP、Oracle、Google Applicationsなど、汎用性の高いソフトウェアの学習も提供しています。産業界からの需要が高く、最も必要とされる分野のひとつです。



広報デジタル技術学(DC)

コミュニケーションとデジタル技術を統合して学習しています。また、ものづくりの原則に従った学術的なアプローチと実践的な経験に重点を置いており、分析、デザイン、作品の評価に取り組む学生のスキル向上を支援します。このプログラムでは創造的産業の推進計画や国家開発戦略計画「Thailand 4.0」に合わせた最新のコンテンツを提供しています。

【新設】 データサイエンス学(DS)

データサイエンスの知識と実践的なデータ分析スキルを習得し、企業の意思決定をサポートできる人材を育成。データ収集、分析、可視化、そして問題解決までを網羅し、倫理観を備えたプロフェッショナルを輩出します。

TNIの5学部・23学科

<経営学部－7学科>

ビジネス&スタートアップ開発学(DBS)

多国籍企業のリーダーシップを育成し、自ら海外でビジネスに参加したいと考えている学生を対象としたコースです。授業は英語で行われ、異文化の理解と尊重について国際的な視点を持つことを目指しています。

国際経営学(IB)

国際ビジネスのキャリアを追求するすべての学生に不可欠な履修内容です。組織・職業訓練的な内容もあり、学生の就職先を自動車、電機、繊維産業などの国際ビジネス環境の職場、また商業関連分野を視野に入れていきます。

日本の人事管理学(IB)

人材管理、ビジネス管理、および日本の企業文化に焦点を当てています。特に経営知識と、人事管理と開発に関し、労働倫理や道徳などの課題に理論面と実践能力、さらにこれらの知識を活用して工業製品を効率的生産する能力、英語と日本語のコミュニケーション力を付与します。

デジタルマーケティング学(DM)

製品とサービスの開発、価格戦略、マーケティングにおける流通管理、コミュニケーションとプロモーションなどについて創造力が身に着く包括的なプログラムです。また組織経営の理解にも焦点を当て、実際に組織に活用できる内容を学習します。

日本語・経営学(BJ)

さまざまな業種の日本企業やタイ-日合弁企業を対象に会計、財務、人事、マーケティング、物流、国際ビジネス管理など、経営管理の最も共通した側面に焦点を当て、実践的能力を付与します。また日本人教員や専門家による日本語指導が特徴です。

会計学(AC)

管理会計、財務会計、会計情報と技術の3つの柱を提供し、会計理論と実践において優れた能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。またBOI、日本の会計、所得税、金融、国際会計慣行などの個別分野でタイ語、英語、日本語を駆使できる会計専門家のニーズに応えます。

革新的観光・接客管理学(TH)

成長する観光産業とサービスのニーズに応える、質の高い知識、言語力、IT能力を持つ卒業生を育成することを目指しています。観光およびホスピタリティ業界のさまざまなポジションで創造的に働くことが可能になります。

TNIの5学部・23学科

<国際学院－3学科>

※英語での講義

デジタル工学(DGE)

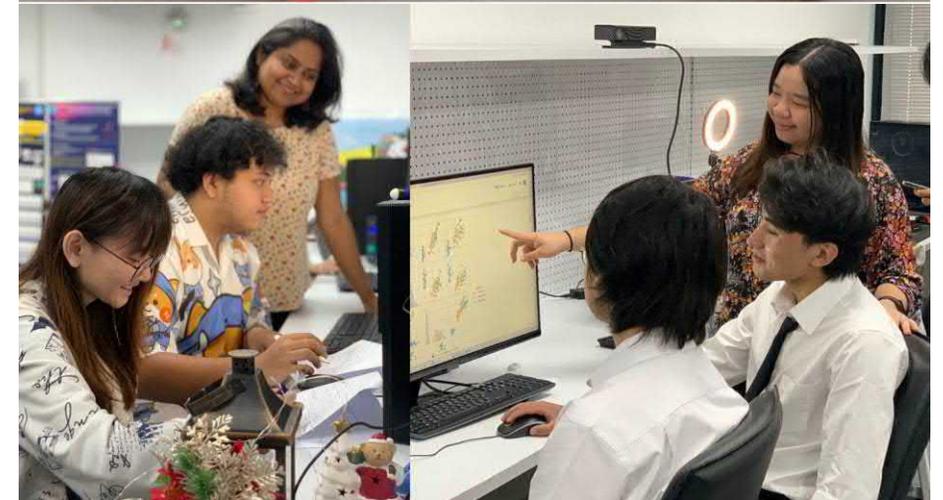
伝統的な電気工学、機械工学、化学工学の要素と組み合わせ、産業インターネット(IIoT)、ビッグデータ分析、クラウドコンピューティング、人工知能(AI)および機械学習、ブロックチェーン、仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、などのデジタル技術の重要なスキルを取り入れた、エンジニアリング分野のデジタル変革に向けた近代化された学問分野です。

データサイエンス・解析学(DSA)

統計学とコンピュータ科学の知識をビジネスと可視化の技術と組み合わせ、より正確な戦略的意思決定を行うための新しい多様な学問分野です。次世代を育成し、製造業、金融業、サービス業、医療業、さらにはタイランド4.0政策の下で農業など、多くの重要な産業を革新する知識とスキルセットを提供することを目指しています。

国際ビジネス起業学(IBN)

グローバル市場で成功するためのリーダーシップスキルと国際ビジネス能力を持つ質の高い卒業生を育成することに特化しています。優れた教授陣や専門家からアドバイスされる戦略やアプローチを提供することで、卒業生の起業家マインドセットを育成します。実践的な学習体験を通じて自信を身につけるよう支援します。



TNIの5学部・23学科

＜グローバルコミュニケーション学部 – 1学科＞

＜デジタルテクノロジー学部 – 1学科＞

【2023年9月新設】

グローバルコミュニケーション学部

日本語・国際ビジネス学 (JIB)

基礎から上級まで日本語を集中的に学ぶだけでなく、専門的な経営管理に必要な日本語や、実践的なビジネス管理の科目も学習します。日本での学生交流活動や、インターンシップに参加し経験を積むこともできます。



【2025年度新設】

デジタルテクノロジー学部

ロジスティクス & デジタルサプライチェーン (LD)

サプライチェーン管理の基礎から、データ分析、AI、IoTなどの最新技術、そしてビジネスモデルの構築まで、幅広い知識とスキルを習得できます。実習やプロジェクトを通して、実践的な経験を積み、企業で即戦力となる人材へと成長します。

社会人教育 <3学部9学科>

<p>工学部 ロボティクス・リーン 自動化工学(RE)</p> <p>従来の生産工学をさらに需要の高い標記テーマに改訂。工作機械設計、工場管理、高性能数値制御(CNC)設備・機材などを使った実技演習などを含む生産技術システム、生産プロセスにおける問題解決の知識とスキルを学びます。</p>	<p>工学部 産業工学 (IE)</p> <p>生産現場で実際に使用される機器やツールを使い、より深いIEと経営知識とスキルを学びます。生産計画、生産プロセスの改善、物流管理を含む品質管理の理論と応用を学びます。</p>	<p>情報技術学部 情報技術学(IT)</p> <p>コンピュータ・プログラミング、マルチメディア、コンピュータ・グラフィック、広報、顧客(関係)管理やウェブサイト上のサービスなどの分野に、情報技術知識の応用を含む経営のためのデータ処理などをテーマに学生を訓練します。</p>
<p>情報技術学部 ビジネス情報技術学(BI)</p> <p>国際計算機学会(ACM)の理論知識を実践的な訓練に統合する標準カリキュラムに基づいて設計、学生に情報技術、特にビジネス情報技術について分析、データ処理、管理に焦点を当てた知識とスキルを付与します。</p>	<p>経営学部 技術・生産革新管理学(MI)</p> <p>技術と生産革新を合わせて学び、またビジネス開発で日本の「ものづくりの考え方」を現場に用います。生産管理、品質管理、資本管理、人事管理、物流、サプライチェーン管理、組織析などの経営スキルを学びます。</p>	<p>経営学部 会計学(AC)</p> <p>管理会計、財務会計、会計情報という会計技術の3つの柱を提供。またBOI、日本の会計所得税、金融、国際会計慣行などの個別分野でタイ語、英語、日本語を駆使できる会計専門家のニーズに対応しています。</p>
<p>経営学部 日本的人事管理学(HR)</p> <p>経営知識と人事管理と開発に関し、労働倫理や道德などの課題に理論面と実践能力、さらにこれらの知識を活用して工業製品を効率生産する能力、英語と日本語のコミュニケーション力を付与します。</p>	<p>経営学部 ロジスティクス・サプライ チェーン管理(LM)</p> <p>物流サービス開発のシステムやプロセスに焦点を当て、サプライチェーンの包括的サービスでのプロジェクト管理の理論と実践の両方を可能にする人材を育成します。</p>	<p>経営学部 デジタルマーケティング学(DM)</p> <p>インターネットやIT技術など「デジタル」を活用したマーケティング手法(ビジネスDM戦略と方法)を学習・実践します。</p>

修士課程（社会人大学院）

※主に土・日曜日に講義・実習



技術工学研究科 (MET)

研究開発、応用、および工学技術の発展において、知識、スキル、専門知識を持つ卒業生を育成することを目指しています。また、創造力、問題解決のための分析的思考、そして日本の手法に基づく短期的・長期的な目標達成のための管理能力を養成します。さらに、倫理規範を遵守し、社会への公共意識を持つ実務者として活躍できる人材を育成します。自己の能力を継続的に向上させ、技術の変化に適応できる柔軟性を備えることを重視しています。

情報技術学研究科 (MIT)

モノづくりとヒトづくりの原則を基に設計されたこのカリキュラムは、日本スタイルでの創造性と人材育成に焦点を当てています。情報技術に関連する基本的な知識を包括的に組み合わせることで、総合的な教育を提供しています。

日本式ビジネス経営研究科 (JMBA)

○ 日本語・ビジネス経営専攻 (JMBA-MBJ)

本学科の特徴は、経営学と並行して日本語を学ぶ点にあります。これにより、日本企業の基本的な管理理念や原則への理解が深まります。豊富な経験を持つ日本企業の専門家から知識と経験を学ぶことで、日本式と国際的な管理スキルを備え、ビジネス日本語の能力を持つ経営者を育成します。これにより、組織やビジネスを効率的に管理するための実践的な知識を提供します。

○ 事業創造イノベーション専攻 (JMBA-MBI)

デザイン思考やビジネスモデル設計を通じて、変化する世界での起業家精神を育むことを特色としています。豊富な経験を持つ日本企業の専門家から知識と経験を学ぶことで、日本式と国際的な管理スキルを備えた人材を育成し、組織やビジネスを効率的に管理するためのビジネスモデル開発を支援します。

○ リーン生産システム・物流管理専攻 (JMBA-LMS)

トヨタ生産方式、リーン生産向けデジタルシステム設計、自動化・ロボットによるリーン生産の学習を特色とし、豊富な経験を持つ日本企業の専門家から知識を学びます。日本式と国際的な管理スキルを備え、産業ビジネスの効率的な生産管理ができる人材を育成します。

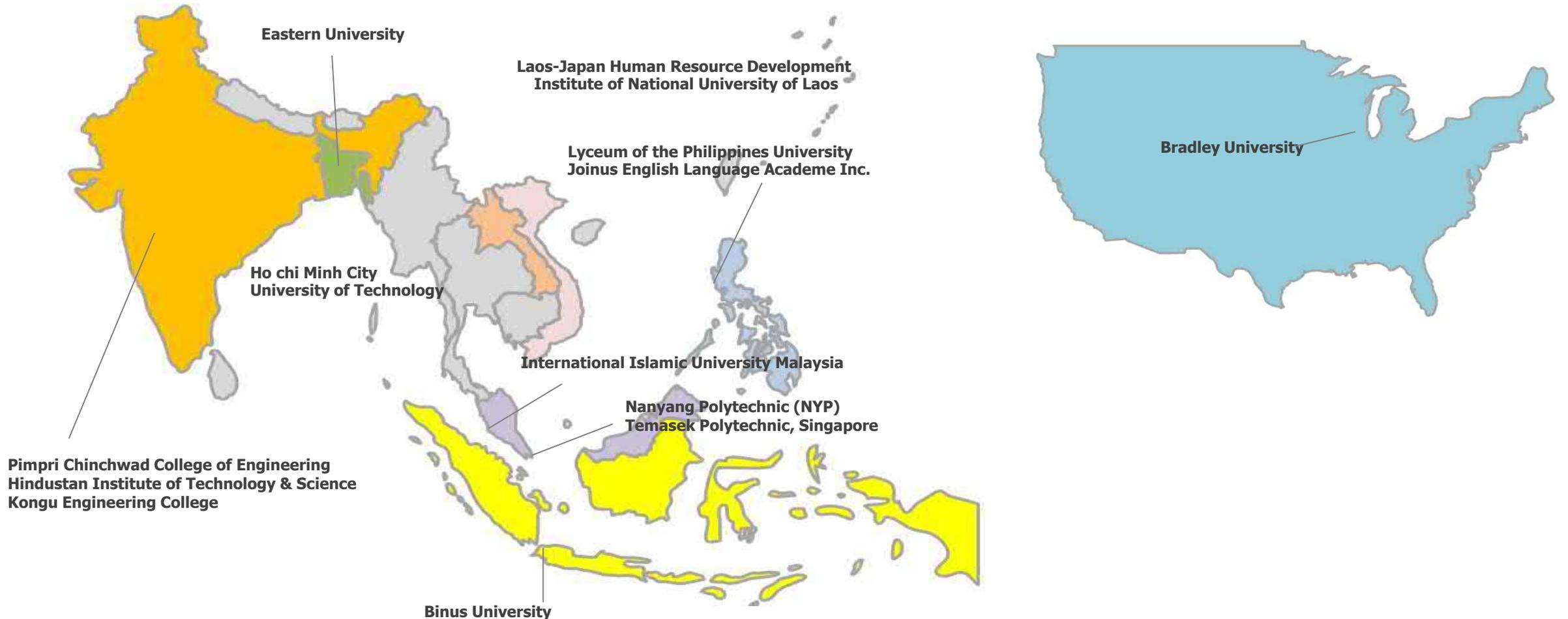
○ 物流・デジタルサプライチェーン管理学 (JMBA-LDS)

物流・サプライチェーン計画、デジタル技術を活用した倉庫管理や在庫管理、リーンロジスティクスの学習を特色とし、豊富な経験を持つ日本企業の専門家から知識を学びます。日本式と国際的な管理スキルを兼ね備えた経営者を育成し、効率的なデジタルロジスティクスとサプライチェーン管理を実現します。

国際交流：80の日本の大学・高専・機関等とのMOU



国際交流：ASEAN・南アジア・米国の9大学とのMOU



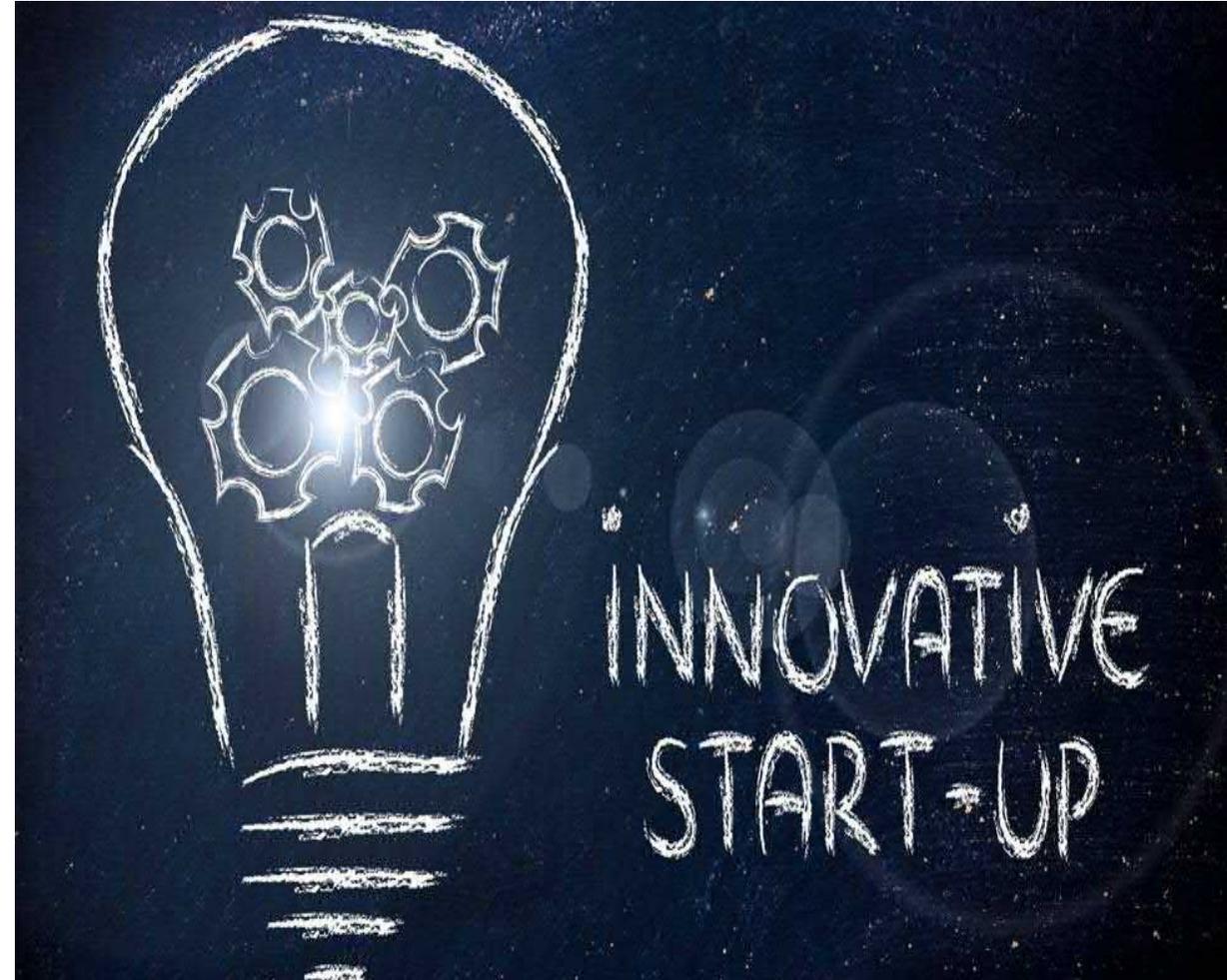
学生交流



サマープログラム、大学・高専生短期留学、PBL、スタディツアーにより合計130名以上の日本人学生を迎え入れた。

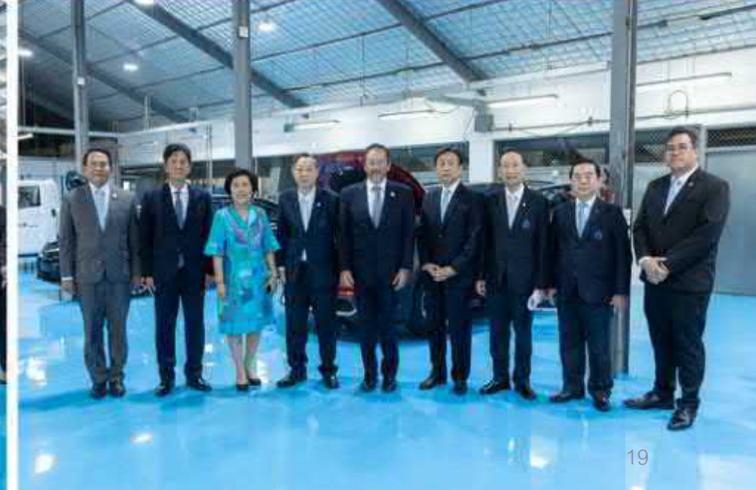
産学連携・研究開発への取組

- 研究開発助成金の獲得
 - NEDO
 - 高橋産業研究財団
- 産業共同研究
 - Toyota Tsusho (Thailand)
 - PANUS
 - SCG
- 社会実装研究・起業家教育
 - Smart pole App
 - Tech Startup



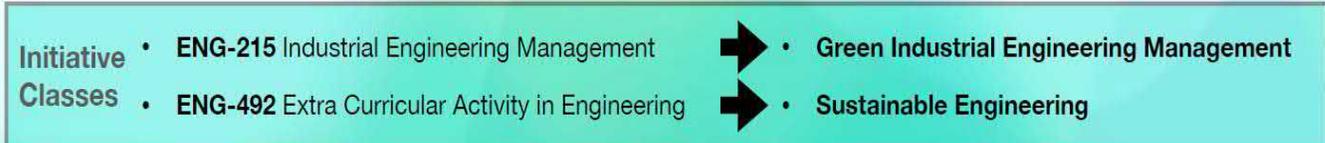
産学連携

<先進モビリティ推進研究室>



Special Endowed GX Course in Green Industrial Transformation towards Sustainability

- Objectives:**
1. Provide a comprehensive understanding of sustainability principles, renewable energy sources, energy efficiency, and emissions reduction strategies.
 2. Enable students to analyze, evaluate, and implement sustainable solutions in engineering contexts, fostering a more environmentally responsible industry.
 3. Integrate green practices into industrial engineering and management, working towards carbon neutrality and a sustainable industrial sector.



Monozukuri in Action ものづくり教育の実習実現事業

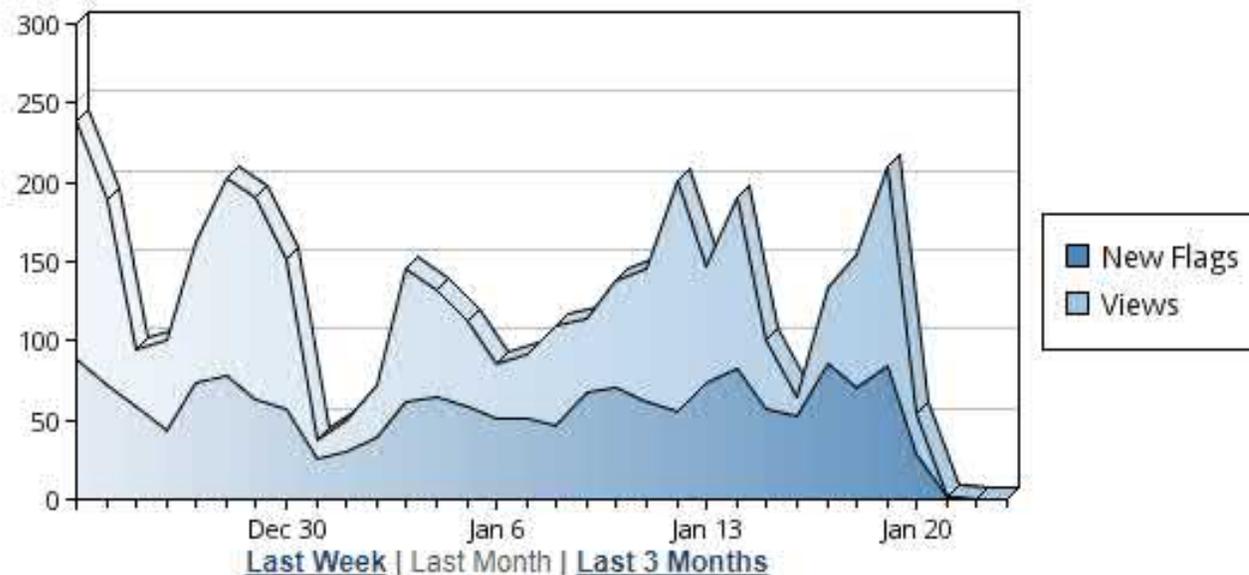


研究成果の発信 得意分野の産業学術サービス

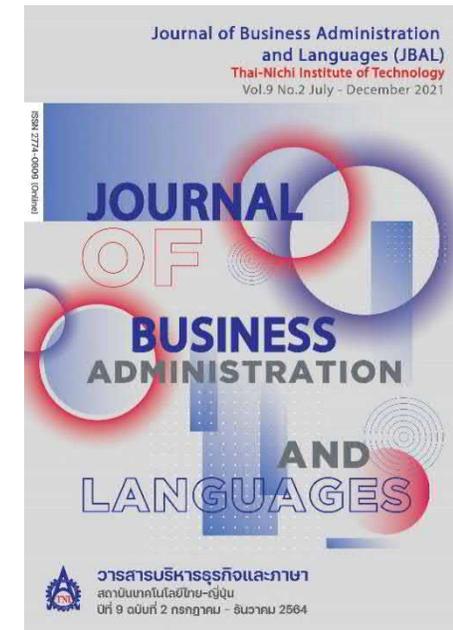
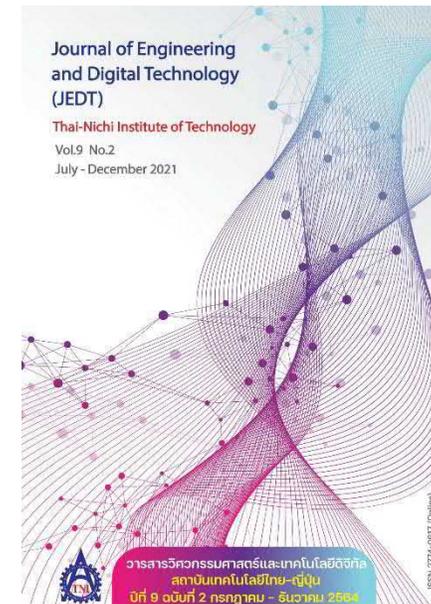
タイ・英文の研究・開発ジャーナル: 年2回Eジャーナル発刊

タイ国引用文献協会の高評価。

144か国 52,788人 118,148回の閲覧(2016.1以来)



This counter has been viewed 118,148 times by 52,788 visitors!



在タイ日系企業・日本産業界への情報発信

日・タイ経済協カウエビナー 泰日工業大学 J-Seminar

タイ下院選挙後の政治情勢と新政権下の政策の見通し

一般社団法人日・タイ経済協力協会

JTECS



泰日経済技術振興協会 / 泰日工業大学

講師：浅見 靖仁（法政大学 法学部国際政治学 科教）

モデレーター：助川 成也（国土館大学 政経学部経済学科教授・泰日工業大学 客員教授）

【講師】



【モデレーター】



TNI・JTECS共催日系企業勉強会（J-Seminar）

助川成也TNI客員教授「変わる日系企業の集積地・タイ～泰日工業大学の1年で感じた変化と危機感～」

浅見靖仁法政大学教授「タイ下院選挙後の政治情勢と新政権下の政策の見通し」

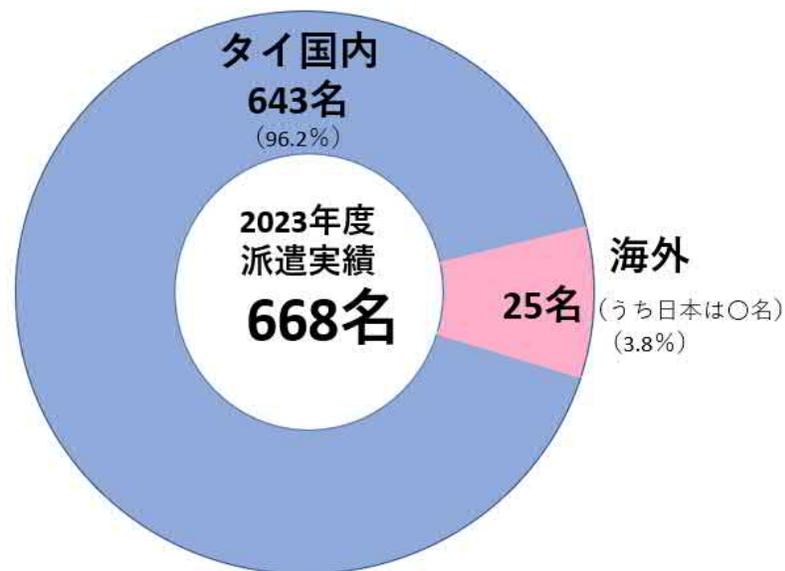
インターンシップ

TNIではインターンシップを通じて、大学と企業が連携し、学生が学業と実務を結びつけて学ぶ機会を提供します。学生にとっては学んだ知識を実社会の課題に活かす経験が得られ、企業には新たな学生採用のきっかけにもなります。

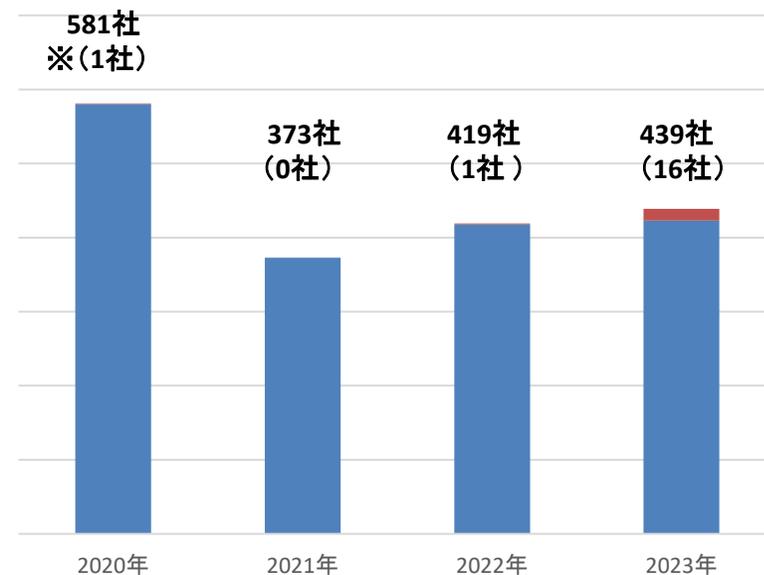
- 95%以上の学生が参加
- 期間は2~4ヶ月
- タイ国内の企業(多くは日系企業)、または日本で行う
- 単位を付与

累計派遣学生数
(2010年~2023年実績)

9,354名

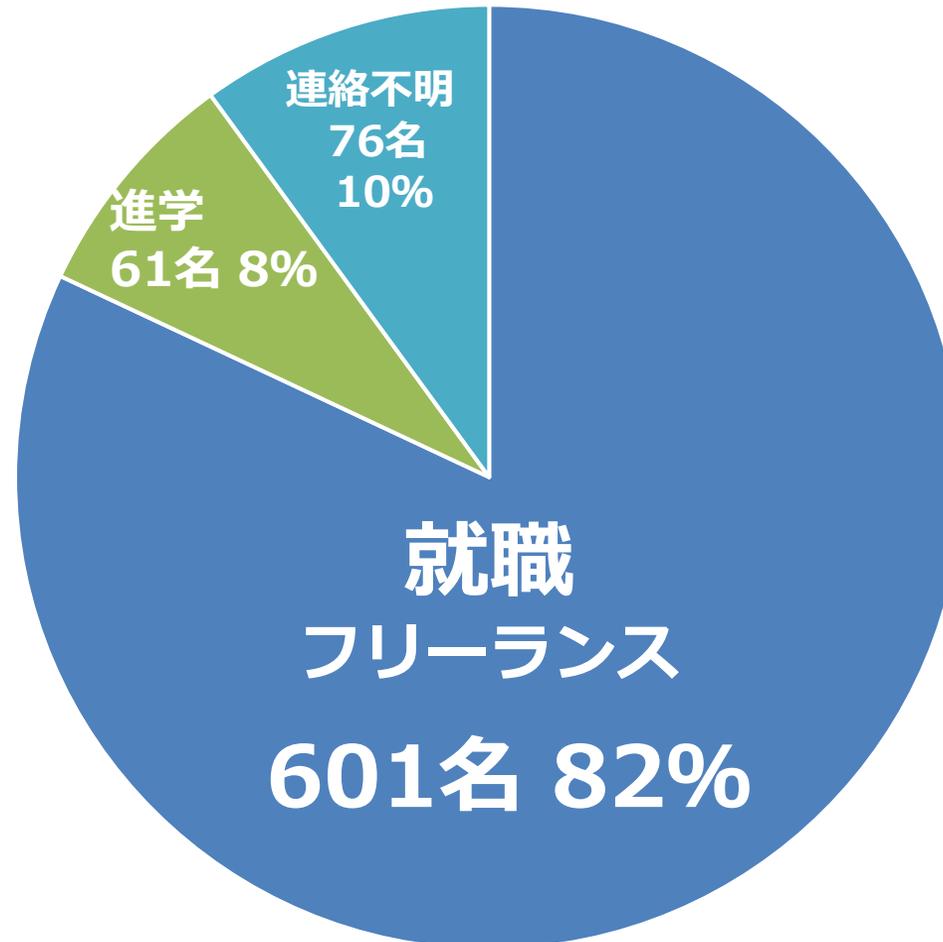


直近4年の受入企業数 ※()うち日本含む海外企業数



就職状況

学部卒業生の進路 (2023年度)





TNI
JOB
FAIR
2025

19 FEBRUARY 2025 at 9 a.m.- 4 p.m.
Thai-Nichi Institute of Technology | Bangkok

就職合同説明会 <TNI JOB FAIR>

担当：カシラー、カニター（英語）

Email: kasira@tni.ac.th

kanidta@tni.ac.th

本年度 開催日	・第1回：2024年 9月 25日 (水) <終了> ・第2回：2025年 2月 19日 (水)
開催場所	・泰日工業大学(TNI) キャンパス内 1771/1, Soi Pattanakarn 37, Pattanakarn Rd., Suanluang, Bangkok 10250
参加企業	・各回 60～70社 （日本・日系企業 約80%）
対象学部 /学年	・泰日工業大学(TNI) 全学部/全学年 …工学部/情報技術学部/経営学部/グローバルコミュニケーション学部/国際学院 計5学部の4月卒業予定の4年生、卒業生（1～3年生も積極的に参加）
応募条件	・外国人高度人材として、日本、タイなどで直接雇用を検討されている企業様
参加費	・ 有料 （1ブース5,000バーツ）
その他	・出展数に限りがあるため、TNIへの寄付企業様優先となります。

就職合同説明会 <TNI JOB FAIR>

【出展ブースについて】

- ・サイズ：縦1M×横2.5M程度を想定
- ・設備：机×1、イス×2、電源×1
- ・企業様参加人数：原則2名
- ・ブース場所指定：不可

- * ご出展企業数により変動
- * 延長コードは各社様ご準備

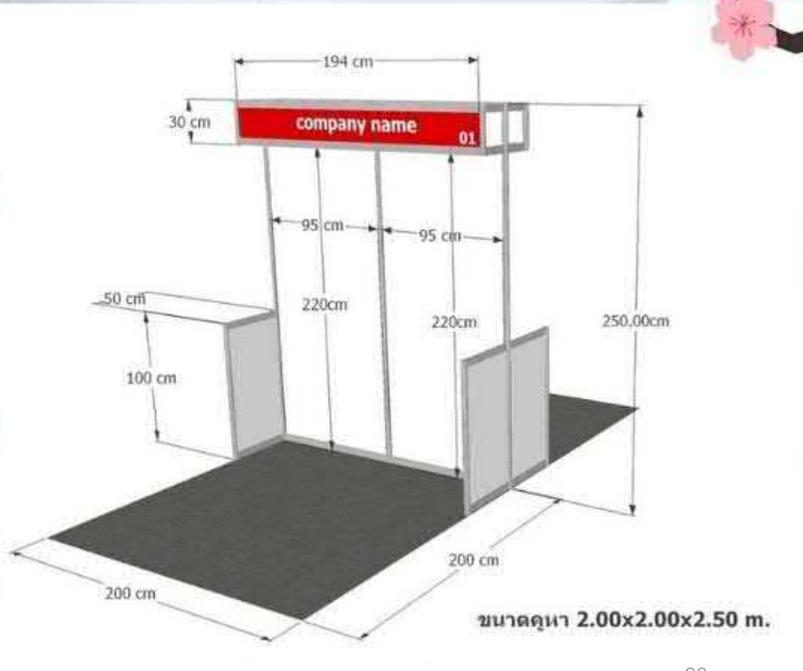
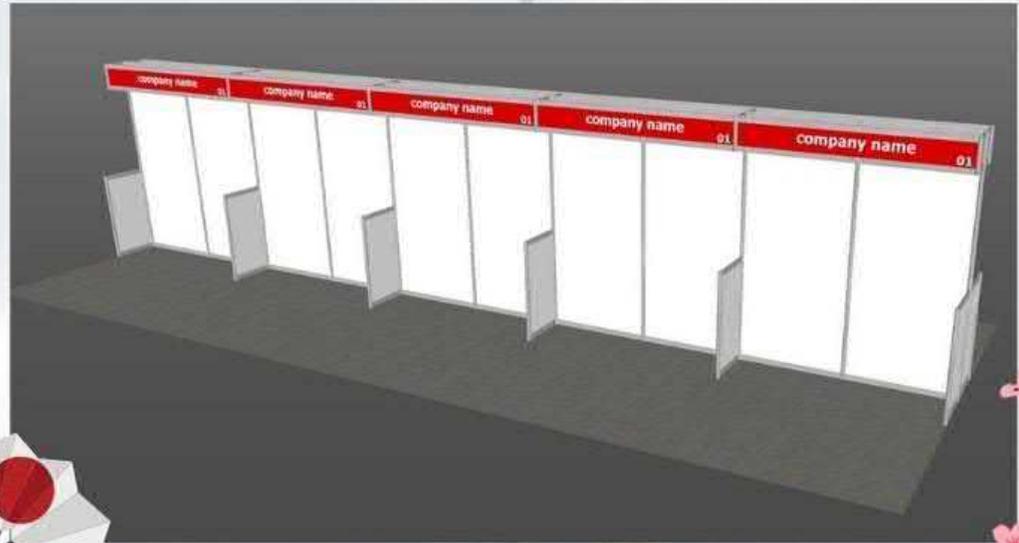
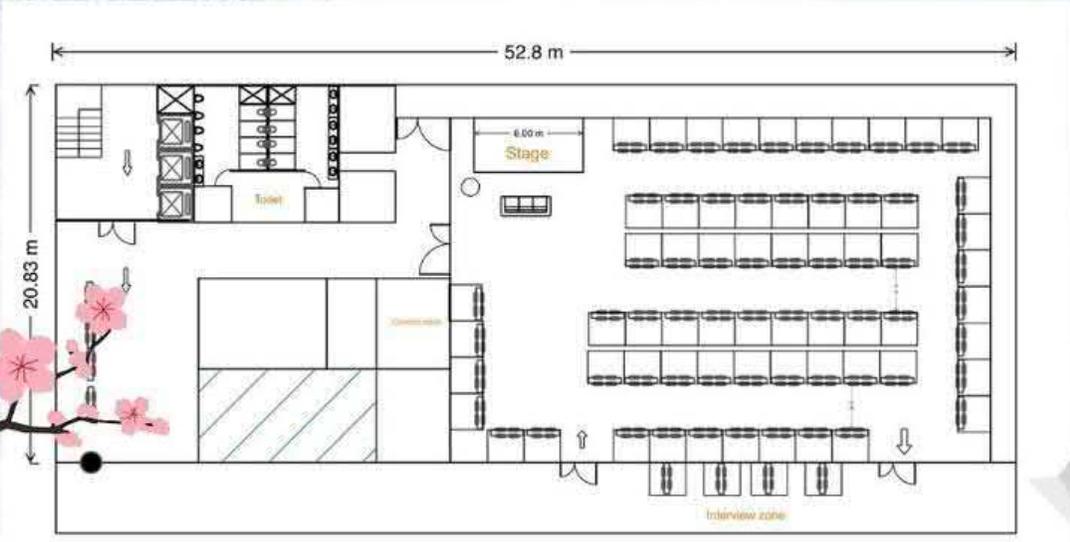
【設営時間について】

- ・前日16時以降ブース設営可能
- ・当日は7:30開門

【その他】

- ・学内駐車場に限りあるため、
近隣の駐車場をご利用となります
- ・通訳用意なし





ありがとうございました。



泰日工業大学 (TNI)

Thai-Nichi Institute of Technology